

| | ① まちづくりをどう捉えるべきか | ② 市民・コミュニティの役割 | ③ 行政、議会の役割 |
|-------|--|--|--|
| 現状・課題 | <p>市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無関心な市民 ・自分勝手な要望 ・まちづくりへの参加は市民の責務なのか、権利なのか。 ・メディアや通信手段の発達したことにより言った者勝ちという風潮 ・「市民」と理想的な人物として捉えているのではないか。 <p>若者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元で就職できない。 ・経済的弱者という意味では、本当の弱者は若者 <p>条例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちづくり」の条例ではなく、「自治基本条例」 <p>まち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まち」として成熟しているのではないか。 ・旭川の面積の広さがまちづくりを難しくしている。 | <p>市民参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らないから参加できない。参加できないから意識が高まらない。 ・市民参加に対する意識が希薄 ・参加したくない人の権利をどう守るか。 <p>コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何かあったら訴えられるなど、制限がたくさんある。 ・訴訟社会 ・個々の生活を防御するため、お互いの干渉を極力避ける。 ・僅かな権利を守るため、過敏になっている。 <p>担い手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会やPTAで、役員のなり手が少ない。 ・町内の高齢化 | <p>市民意識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政に対して良いイメージを持っていない。 ・行政から発信されているものは受け入れ難い。二の足を踏む。 ・行政が住民への説明責任を果たしていない。 <p>行政運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報公開が足りない。 <p>納税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金を払いたくない経営者が多い。 ・税金の使われ方に不信感 |
| 解決策 | <p>市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭川に愛着を持つことが大事 ・市民一人一人が良識と責任感を持つように努力しなければならない。 ・ネットワークツールの活用 <p>若者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の確保 <p>条例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までのものに新しい視点がプラスされて、条例に盛り込まれる。 <p>まち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば四等分して、地域ごとに特色を持って発展させる。 ・社会資源を活かす ・企業参加がキーワード ・ユニバーサルな視点 | <p>市民参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が参加することによって身近になり、愛着がわく。 ・旭川市民であるという自覚を持つ。 ・自分が参加している意識 ・知っている人が知らない人に伝えたり、一緒に参加するよう促す。 <p>コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭川との繋がりを実感することが大事 ・旭川のコミュニティに属している意識 ・身近なところからまちづくりに参加 ・うまくいっている町内のノウハウの蓄積、情報共有 ・大学や識者のノウハウを取り込む。 <p>担い手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でリーダーシップを取れる人を育成 ・市民参加させていかないと、市民として成長しない。 <p>・子供もまちづくりの担い手になるような仕組み</p> | <p>市民意識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達でまちを良くしようと思ってもらうことが大事 ・教育の場において学習する機会 <p>行政運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報公開を進める必要がある。 <p>納税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金の使われ方についての情報公開 |
| 理想像 | <p>市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆が意見を言えるようなまちづくり <p>若者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住み続けられる環境 <p>条例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の立ち位置が表されている条例 ・旭川のまちを誇れるような条例 <p>まち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供達の自慢になるようなまち ・都市像「人が輝く 北の文化のかおる まち」=旭川らしいまち ・子供達が大人になっても住めるまち ・子育てしやすい環境 ・高齢者が住みやすい環境 | <p>市民参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な方が参加できる環境 ・企業や農家が地域活動を応援 ・企業のまちづくりに対する使命感 <p>コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民・地域・コミュニティの役割は自助 <p>担い手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良識ある市民は、参加の要件ではなく、参加した結果 ・自分達のまちを自分達で税金を払って、自分達が良くすると思う経営者 ・次の世代に繋ぐ。 | <p>市民意識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のこととして責任を持つ。 <p>行政運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政の役割は、市民・地域・コミュニティが自助できない部分を支援 <p>納税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金を払いたくなるようなまち ・納税しやすい環境 |